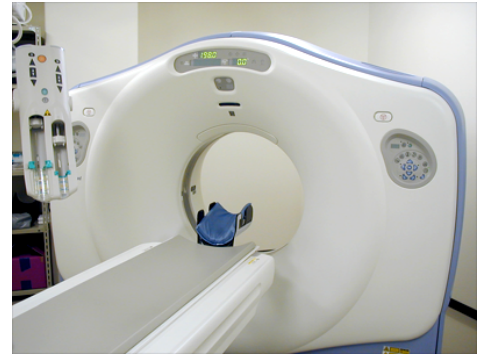


3DCTA検査の説明

● 3DCTA (スリーディーシーティーイー) 検査とは

3DCTAは、エックス線を人体に照射し、脳や心臓、全身の血管を立体的に映し出すことができる検査です。患者さんは、ベッドの上に横になって、息止めをしながらリング状の装置の中を通過して行きます。検査中は、痛みなどはありません。安全に検査を受けていただくため、以下に注意事項を説明します。



● エックス線による人体への影響

通常の3DCTA検査では、エックス線による人体への影響はほとんどありませんが、妊娠3ヶ月以内の妊婦の方や妊娠の可能性のある方は、胎児に影響する可能性がありますので、医師にご相談ください。

● 造影剤の説明

検査当日の食事は、お取りになって構いませんが、牛乳は飲まないで下さい。

《造影剤とは》

検査に使用される薬(造影剤)は、検査中に、腕の血管(静脈)から注射します。エックス線を吸収するヨウの成分を含んだ造影剤を使用することで、血管や血液の流れ、病巣部の鮮明な画像を得ることができます。ただし、まれに造影剤による副作用を生じることがありますので、以下に説明します。

《造影剤の副作用》

副作用の頻度は、軽微なものを含め3%程度といわれています。

- ◎軽度(一時的)の副作用：吐き気、おう吐、熱感、発疹、じんま疹、めまい等
- ◎重度(10万人に一人程度)の副作用：血圧低下、呼吸困難、死亡
- ◎その他：注射部位の腫れ、炎症等

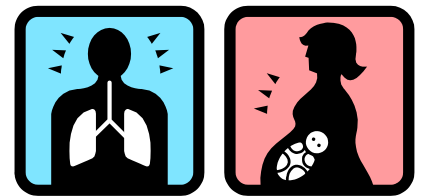


※副作用は、数時間後から数日後に症状が現れるものもあります。お気づきの点がありましたら下記お問い合わせ先までご連絡ください。

《副作用が生じやすい状態》

以下の事項に該当する場合は、医師にご相談ください。

- ①以前に、造影剤で具合が悪くなったことがある
- ②気管支ぜんそくやアレルギー体質と診断されている
- ③腎臓病があると診断されている
- ④糖尿病の飲み薬を服用している
- ⑤甲状腺機能亢進症と診断されている
- ⑥妊娠している可能性がある(胎児への影響があるかもしれないため)



※以前の検査で副作用が出ていなくても、今回の検査で副作用が出ることもあります

● お問い合わせ先

北星記念病院 地域医療連携室 電話(0157)51-1234 FAX(0157)51-1230